

2008年度第1～2四半期累計 連結決算ハイライト (米国会計基準)

2008年度第1～2四半期累計の概要

(単位: 億円 △損失、減少)

・「当期純利益」は、前年同期比222億円増益の1,392億円となり、4期連続の過去最高益更新。通期見通し2,400億円に対する進捗率は58%。加えて、「売上総利益」についても4期連続、「営業利益」、「実態利益」については5期連続、「税引前利益」については3期連続の過去最高益更新となった。
 ・「セグメント別の当期純利益」は、金属・エネルギー、繊維、生活資材・化学品、食料で前年同期比増加となったが、機械、宇宙・情報・マルチメディア、金融・不動産・保険・物流で前年同期比減少となった(注1)参照。金属・エネルギーの増加額は366億円、繊維、食料、生活資材の合計である生活消費関連の増加額は104億円。
 ・事業会社損益は256億円増加の1,074億円。海外現地法人損益は13億円増加の125億円。黒字会社比率は前年同期並みの77%。海外事業損益は818億円で当期純利益1,392億円に対し、59%を占めている。
 ・株主資本は前年度末比437億円増加の1兆222億円。株主資本比率は0.1%上昇の18.8%。NET DERは前年度末と同水準の1.7倍。

(注1)前年同期の繰オリエンコーポレーション(以下「オリコ社」)関連の特異要因は、以下のとおりです。	2007年度	連結損益計算書における認識項目	
		持分法による投資損益	法人税等
オリコ社実行の資本政策(優先株式の併合)等に伴う同社からの取戻利益	第1四半期	522	△214
当社保有のオリコ社普通株式に係る評価損	第2四半期	△262	107
	合計	261	△107
			当期純利益
			308
			△154

経営成績	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年同期比		主たる増減要因	通期見通し	前回通期見通し (4月30日公表時)
			増減額	増減率(%)			

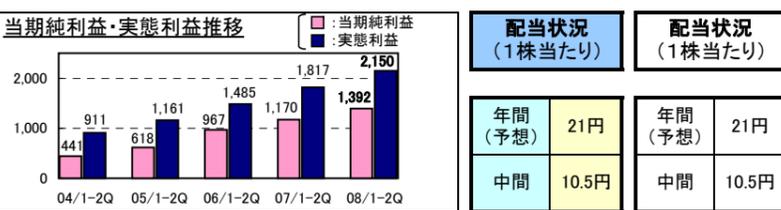
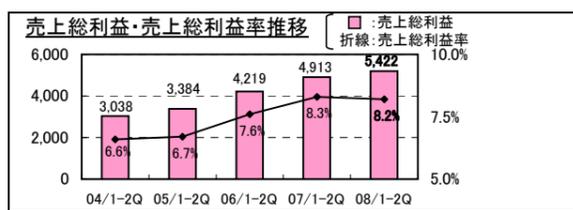
収益	14,968	14,238	+ 730	+ 5.1%
売上総利益	5,422	4,913	+ 508	+10.3%
その他の収益(△費用)				
販売費及び一般管理費	△3,654	△3,580	△ 74	+ 2.1%
貸倒引当金繰入額	△ 124	△ 1	△ 123	-
金利収支	△ 145	△ 159	+ 14	△ 8.6%
受取配当金	178	138	+ 40	+28.8%
(金融収支)	(33)	(△ 20)	(+ 54)	(-)
投資及び有価証券に係る損益	50	105	△ 55	-
固定資産に係る損益	△ 8	2	△ 11	-
その他の損益	△ 25	28	△ 52	-
その他の収益(△費用)計	△3,728	△3,466	△ 262	+ 7.5%
税引前利益	1,694	1,447	+ 247	+17.1%
法人税等	△ 615	△ 730	+ 115	△15.8%
税引後利益	1,079	717	+ 362	+50.6%
少数株主持分損益	△ 36	△ 50	+ 14	△28.0%
持分法による投資損益	349	504	△ 155	△30.7%
当期純利益	1,392	1,170	+ 222	+18.9%

・収益: 金属資源・エネルギー価格の上昇、飼料穀物・油脂等の食料原料、食品流通関連における取扱の増加等
 ・売上総利益: (増減分野及び商品等) 「オペレーティングセグメント情報」参照
 繊維/減益: 子会社数社の連結除外、衣料品市況低迷等
 機械/減益: 船舶取引増加するも北米自動車・建機事業が不調
 宇情/減益: 国内携帯電話販売事業増益も国内情報産業関連事業不調、前年同期の航空関連資産売却益の反動
 金エネ/増益: 権益保有油田の引取数量が減少も、金属資源・エネルギー価格上昇及び鉄鉱石販売数量の増加
 生化/増益: 化学品価格上昇、北米住宅資材関連事業が堅調
 食料/増益: 飼料穀物・油脂等の食料原料、食品流通関連での取扱増加
 金不保物/増益: 投資家向け賃貸不動産の売却件数減もあるも前年同期の長期開発用不動産に係る評価損計上の反動
 ・販売費及び一般管理費: 業容拡大等に伴う経費の増加及び退職給付費用の増加等
 ・貸倒引当金繰入額: モノル向け債権に係る貸倒引当金の繰入△108等
 ・金融収支: 金利収支+14(米ドル金利率低下等)、受取配当金+40(LNG関連+34)
 ・投資及び有価証券に係る損益: 株式売却損益△18、株式評価損△55、事業整理損△17
 ・固定資産に係る損益: 固定資産評価損△10等
 ・その他の損益: 為替損益の悪化△52等
 ・持分法による投資損益: オリコ社(注1)、IMEAの持分法による投資損益+27、伊藤忠丸紅鉄鋼㈱+19、㈱ファミリーマート+4、日伯紙ハルブ資源開発㈱+4等

(参考)				
売上高 ①	66,135	58,980	+7,155	+12.1%
(売上総利益率)	(8.2%)	(8.3%)	(△ 0.1%)	
営業利益 ②	1,643	1,332	+ 311	+23.4%

実態利益 ④	2,150	1,817	+ 333	+18.3%
--------	-------	-------	-------	--------

実態利益 = 売上総利益 + 販売費及び一般管理費 + 金融収支 + 持分法による投資損益

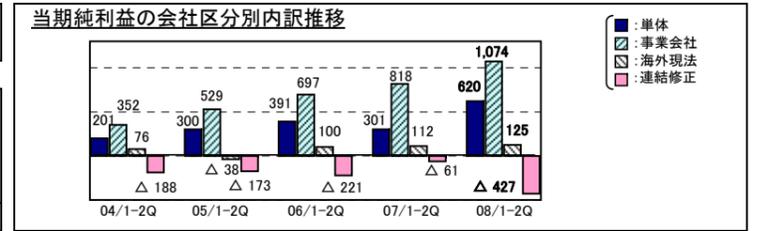


オペレーティングセグメント情報	売上総利益(注2)		当期純利益		【当期純利益】主たる増減要因	
	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年 同期比	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年 同期比

繊維	469	558	△ 89	132	72	+ 60	新規関連会社の連結に加え、投資有価証券損益の大幅好転等があり増益
機械	454	514	△ 60	37	165	△128	営業利益の大幅減少及び自動車関連の投資有価証券損益の悪化により減益
宇宙・情報・マルチメディア	611	634	△ 23	19	46	△ 27	持分法投資損益の好転もあるも、投資有価証券売却益及び営業利益の減少により減益
金属・エネルギー	1,115	640	+475	864	498	+366	営業利益並びにLNG関連の受取配当金の増加及び持分法投資損益の増加により増益
生活資材・化学品	650	616	+ 33	132	105	+ 28	営業利益の増加等により増益
食料	1,698	1,630	+ 68	124	111	+ 13	営業利益及び持分法投資損益の増加等により増益
金融・不動産・保険・物流	225	184	+ 41	66	145	△ 78	営業利益増加も投資有価証券損益及び金融関連事業の持分法投資損益大幅減少(注1)参照
その他及び修正消去	200	137	+ 63	17	29	△ 12	営業利益は増加するも、為替評価損及び投資有価証券評価損発生等により減益
合計	5,422	4,913	+508	1,392	1,170	+222	営業利益については、「平成21年3月期 第2四半期決算」P14-15をご参照ください。

当期純利益の会社区分別内訳	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年同期比	
単 体	620	301	+	319
事 業 会 社	1,074	(注3) 818	+	256
海 外 現 地 法 人	125	112	+	13
連 結 修 正	△ 427	△ 61	△	366
当 期 純 利 益	1,392	1,170	+	222

内、海外事業損益(注4)	818	529	+	289
(海外事業損益比率)	(59%)	(45%)		
(除、オリコ社特異要因)(注5)	()	(52%)		



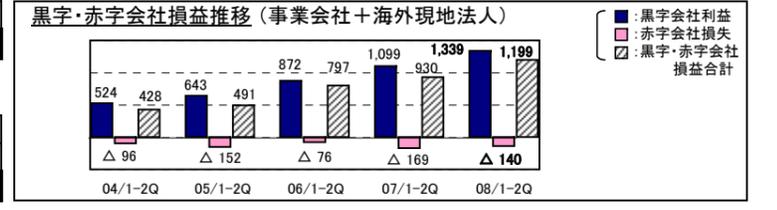
黒字会社率 (事業会社+海外現地法人)	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年同期比	
黒 字 会 社 率	77.0%	77.4%	△	0.4%
(黒 字 会 社 数)	(481社)	(489社)	(△)	8社
(赤 字 会 社 数)	(144社)	(143社)	(+)	1社
(合 計)	(625社)	(632社)	(△)	7社

黒字・赤字会社損益 (事業会社+海外現地法人)	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年同期比	
黒 字 会 社 利 益	1,339	(注3) 1,099	+	239
赤 字 会 社 損 失	△ 140	△ 169	+	29
合 計	1,199	930	+	269

事業会社(取込損益)	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	主たる増減要因	
(主な黒字会社)	(連)	(連)		
ITOCHU Minerals & Energy of Australia Pty Ltd (IMEA)	515	138	石炭、鉄鉱石価格の上昇並びに鉄鉱石販売数量増加等により大幅増益	
ITOCHU Oil Exploration (Azerbaijan) Inc.	117	160	引取数量の減少に伴い減益	
伊藤忠丸紅鉄鋼㈱(MISSI)	101	82	国内事業及び北米建材事業が堅調に推移し増益	
伊藤忠インターナショナル 会社	43	47	住宅資材関連事業は増益なるもウラン市況の悪化、建機事業不調等により減益	
(主な赤字会社)	(連)	(連)		
㈱アイ・シー・エス	△ 20	△ 6	店舗の閉店・休業による影響及び一部店舗の事業譲渡に伴う損失計上により悪化	
ITOCHU Petroleum Co., (Hong Kong) Ltd.	△ 18	21	前年同期は価格高騰に伴い取引好調も、当期はウラン市況下落に伴い商品評価損を計上し、悪化	

(内、事業会社)	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年同期比	
黒 字 会 社 利 益	1,213	(注3) 986	+	227
赤 字 会 社 損 失	△ 138	△ 167	+	29
合 計	1,074	818	+	256

(内、海外現地法人)	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年同期比	
黒 字 会 社 利 益	126	114	+	12
赤 字 会 社 損 失	△ 1	△ 2	+	1
合 計	125	112	+	13



財政状態	2008年 9月末	2008年 3月末	前年度末比	
総資産	54,512	52,554	+	1,958
有利子負債	21,233	21,044	+	189
NET有利子負債	17,112	16,545	+	566
株主資本	10,222	9,785	+	437
NET DER (倍)	1.7倍	1.7倍		同水準

主たる増減要因	2009年3月末 見直し
総資産: 現預金の減少及び株式市況の低迷に伴うその他の投資の減少等もあるも、たな卸資産の増加(機械、宇情マ、建設等)、金属資源・エネルギー価格の上昇(金エネ)、飼料穀物・油脂等の食料原料価格の上昇、食品流通関連の取扱増加(食料)等での営業債権の増加、新規事業会社連結による有形固定資産の増加(機械)等	58,000
株主資本: 当期純利益の積み上げがあるも、配当金の支払による減少、株式市況の低迷に伴う未実現有価証券損益の悪化、為替円高に伴う為替換算調整額の悪化等	23,000
	19,000
	11,800
	1.6倍

キャッシュ・フロー	2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	前年同期比	
営業活動によるCF	639	166	+	473
投資活動によるCF	△ 1,164	△ 921	△	242
財務活動によるCF	140	△ 1,079	+	1,219
現金・現金同等物期末残高	3,994	3,524	+	470

2008年度第1-2四半期累計のキャッシュ・フローの状況					
営業活動CF: 海外資源関連取引等において、営業取引収入が引き続き好調に推移したこと等に伴い、ネット入金額					
投資活動CF: 保有資産売却に伴う入金があった一方、機械関連での新規事業買収、海外資源開発関連における設備投資の増加等による支払もあり、ネット支払額					
財務活動CF: 業容拡大等に伴う資金需要の増加により、ネット入金額(調達)					

主要指標		2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	変動幅	主要指標		2008年度 1-2Q累計	2007年度 1-2Q累計	変動幅	
為替レート (¥/US\$)	3月決算会社	4-9月平均	105.11	119.73	△	金利 (円TIBOR 3M/4-9月平均)	0.848%	0.735%	+ 0.113%	
	12月決算会社	期末日	08/9 103.57	08/3 100.19	+	金利 (US\$LIBOR 3M/1-6月平均)	3.018%	5.357%	△ 2.339%	
		1-6月平均	105.69	119.49	△	プレント原油 (US\$/BBL)	4-9月平均	119.91	71.67	+ 48.24
		期末日	08/6 106.42	07/12 114.15	△		1-6月平均	109.72	63.65	+ 46.07